

# 科目区分：人文・社会科学

授業科目名	日本国憲法（生きた憲法の理論と実践）					学期	曜日	校時
英語名	The Constitution of Japan (Theory and Practice of Our Living Constitution)							
担当教官名	新井信之	単位数	2単位	必修選択	選択	前期	水曜日	1校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>本講義は、私たちが直面する社会問題の解決のために、生きた憲法の理論と実践について考える。最近の憲法問題を素材としてさまざまな角度からその検討を試み、私たちの日常生活と憲法とのかわりについて理解を深めていく。また、授業の一環として裁判所見学を実施し、公開法廷の傍聴をおこなう予定でいる。</p>								
テキスト、教材等								
<p>テキスト・・・畑・阪本編『憲法フォーラム』（有信堂、2000年）                  参考文献・・・畑博行編『現代法学入門』（有信堂、2000年）</p>								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
全学部	定期試験（60％）レポートと出席状況（40％）、授業態度等を総合的に評価する。							
授業計画								
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 近代立憲主義憲法の基本理念 法の支配 / 人権 / 権力分立 / 硬性憲法</li> <li>2. 日本国憲法制定の歴史的背景 押付け（？）憲法論 / 民主憲法の継受 / 日本国憲法の1952年誕生論</li> <li>3. 国民主権と民主的な統治システム 主権の概念 / 代表民主制 / 議院内閣制と違憲立法審査権</li> <li>4. 象徴としての天皇の地位 天皇制と民主主義 / 女性は天皇になれるか</li> <li>5. 戦争放棄と平和・国際協調主義 日本国憲法の平和思想 / 周辺事態法 / テロ防止特別措置法</li> <li>6. 生命の権利・自由 胎児の人権 / 死ぬ権利 / 人工生殖の権利とその限界</li> <li>7. 子どもの発達の権利と最善の利益 家族的生活の保護 / 教育を受ける権利 / 少年司法と更生保護を受ける権利</li> <li>8. パーソナルメディア時代の表現・言論の自由 表現の自由の優越的地位 / 知る権利 / メディアリテラシー</li> <li>9. 男女共同参画社会と法の下での平等 平等の概念 / 男女雇用機会均等法 / セクハラ / 夫婦別姓</li> <li>10. 高齢者の人権 三つの自由について 国家からの自由（生命） / 国家による自由（福祉） / 国家への自由（政治参加）</li> <li>11. 公開討論会と政治活動の自由 選挙活動のルール / 公開討論会の意義 / 市民運動とボランティア</li> <li>12. 地方分権と住民投票 地方自治の本旨 / 国民主権と直接民主制 / 参加民主主義</li> <li>13. 司法制度改革と裁判所 公開裁判の原則 / 裁判手続き / 裁判員制度</li> </ol> <p>質問等受付時間は授業終了後受け付ける。</p>								